



ただみ

学校だより2月号NO.10

令和5年2月3日(金)

編集責任：校長 永江

<重点目標:学び方を身につけた児童の育成>

久しぶりの雪で子どもたちは大喜びでした

先週の大寒波で、1月25日(水)は久しぶりに雪が積もりました。保護者や地域の皆様は、通勤をどうするか悩まれたり、農作物への被害を心配されたりしたのではないかとお察しします。



忠見小学校においては、安全面を考え、登校が通勤時刻と重ならないように、1時間遅らせての登校としました。子どもたちは、学校へ向かう途中から雪玉をつくったり、つららを見つけてもってきたりして、楽しんで登校してきました。学校に到着すると、早速雪合戦や雪だるまづくりが始まり、にぎやかな声が校庭に広がりました。



学習しました

～童男山ふすべ～

川崎小学校の児童との交流学习



忠見小学校と川崎小学校の6年生の交流学习として、毎年山内で行われている童男山ふすべの式典に参加しました。

紀元前3世紀末に秦の始皇帝の命令で、方士(方術に秀でた者・学者)である徐福が、不老長寿の薬を探して渡航しましたが、暴風雨にあい難破しました。八女の地に流れ着いた徐福を、村人たちが枯れ木や落ち葉を燻して介抱しましたが、徐福は村人に感謝しながら息をひきとったと伝えられています。この故事にもとづき、徐福を温めた焚き火を江戸時代から毎年行い魂を慰めてきました。

以前は山内町内の子どもたちが行っていたものを、今から60年程前、川崎小学校の行事として、童男山・犬尾城址保存会の方々とともに行うようになり、本年度から、忠見小学校の6年生も参加するようになりました。

式典には、毎年市長や県議会議員、市議会議員、教育長、地域の行政区長の方々も来賓として参加されています。

この学習をきっかけとして、忠見小学校区で行われている各地区のお祭りや残されている伝説を調べる学習に発展し、見崎校区の歴史や伝統に興味を持ち、地域に愛着を深める子どもに育ってくださることを期待しています。



(裏面あり)

地域の方々のご協力に感謝します

2年生「まち探検」～生活科～

2年生の生活科の学習で「まち探検」を行いました。たくさんの方にご協力をいただき、地域のよさを発見することができました。

【光玉園】



【忠見郵便局】



【駐在所】



【アグリセンター】



【農機具センター】



【八女ヤンマー建機】



【見崎中学校】



地域の皆様、大変お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。

ありがとうございます
ございました

学習しました

4年生「ギコギコトントン」～図工科～

1月26日(木)に、4年生が黒木町笠原にある「奥八女焚火の森キャンプフィールド」で図工科「ギコギコトントン」の学習を行いました。木材をのこぎりで切ったり、釘を打ち付けたりして作品を作っていました。講師は、三代前の忠見小学校の校長だった陶山高義先生でした。丁寧



のこぎりの使い方を教えていただきましたので、子どもたちは上手にのこぎりを使いこなすことができました。とても楽しそうに作品づくりを行う子どもの姿が印象的でした。



1年生「ふゆとなかよし」～生活科～



1年生が生活科の「ふゆとなかよし」の学習で、「凧あげ」を行いました。30日(月)に、私も学習に参加しました。凧あげのコツをつかんだ子どもは、たこ糸を全て伸ばして、高く高くあげることができていました。中には、友達と交錯させて、糸を絡める子どももいましたが、みんな楽しそうに活動していました。

私も子どもの頃はよくやったな、と懐かしく感じました。お家で凧をあげることもあるかもしれませんが、くれぐれも広い場所で安全に。